

令和4年度 第3四半期地域経済動向調査

(令和4年10月～12月 新温泉町商工会)

以下の調査報告内容の詳細については、各ホームページよりご確認ください。

①会員アンケート調査

会員アンケート調査（新温泉町商工会）

<https://www.sinonsen.com/>

②中小企業景況感

中小企業景況調査（全国商工会連合会）

http://www.shokokai.or.jp/?page_id=6633

③地域の雇用情勢

地域雇用情勢調査（豊岡公共職業安定所）

https://jsite.mhlw.go.jp/hyogo-roudoukyoku/jirei_toukei/shokugyou_shoukai/_121984_00008.html

④業種別業況判断

但馬の経済指標（兵庫県但馬県民局）

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/tjk04/keizai/index.html>

① 会員アンケート調査

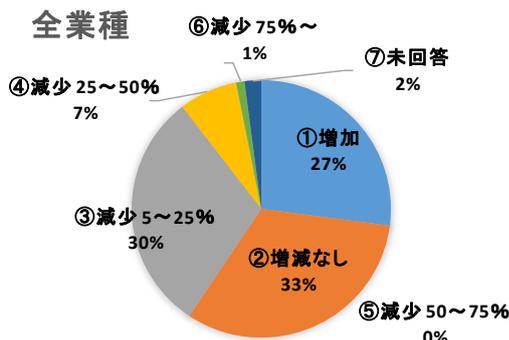
調査依頼 100 企業

回答 96 企業 (回答率 96%)

1.売上状況

(令和3年10月～12月)と(令和4年10月～12月)の比較

全業種		
10～12月	件数	構成比
①増加	26	27.1%
②増減なし	31	32.3%
③減少 5～25%	29	30.2%
④減少 25～50%	7	7.3%
⑤減少 50～75%	0	0.0%
⑥減少 75%～	1	1.0%
⑦未回答	2	2.1%
総計	96	100.0%



建設業		
10～12月	件数	構成比
①増加	4	23.5%
②増減なし	5	29.4%
③減少 5～25%	5	29.4%
④減少 25～50%	3	17.6%
⑤減少 50～75%	0	0.0%
⑥減少 75%～	0	0.0%
⑦未回答	0	0.0%
総計	17	100.0%

製造業		
10～12月	件数	構成比
①増加	5	45.5%
②増減なし	1	9.1%
③減少 5～25%	4	36.4%
④減少 25～50%	0	0.0%
⑤減少 50～75%	0	0.0%
⑥減少 75%～	1	9.1%
⑦未回答	0	0.0%
総計	11	100.0%

卸売業		
10～12月	件数	構成比
①増加	4	66.7%
②増減なし	1	16.7%
③減少 5～25%	1	16.7%
④減少 25～50%	0	0.0%
⑤減少 50～75%	0	0.0%
⑥減少 75%～	0	0.0%
⑦未回答	0	0.0%
総計	6	100.0%

小売業		
10～12月	件数	構成比
①増加	6	31.6%
②増減なし	4	21.1%
③減少 5～25%	9	47.4%
④減少 25～50%	0	0.0%
⑤減少 50～75%	0	0.0%
⑥減少 75%～	0	0.0%
⑦未回答	0	0.0%
総計	19	100.0%

飲食業		
10～12月	件数	構成比
①増加	1	8.3%
②増減なし	6	50.0%
③減少 5～25%	2	16.7%
④減少 25～50%	1	8.3%
⑤減少 50～75%	0	0.0%
⑥減少 75%～	0	0.0%
⑦未回答	2	16.7%
総計	12	100.0%

宿泊業		
10～12月	件数	構成比
①増加	4	40.0%
②増減なし	3	30.0%
③減少 5～25%	2	20.0%
④減少 25～50%	1	10.0%
⑤減少 50～75%	0	0.0%
⑥減少 75%～	0	0.0%
⑦未回答	0	0.0%
総計	10	100.0%

サービス業		
10～12月	件数	構成比
①増加	1	5.0%
②増減なし	11	55.0%
③減少 5～25%	6	30.0%
④減少 25～50%	2	10.0%
⑤減少 50～75%	0	0.0%
⑥減少 75%～	0	0.0%
⑦未回答	0	0.0%
総計	20	100.0%

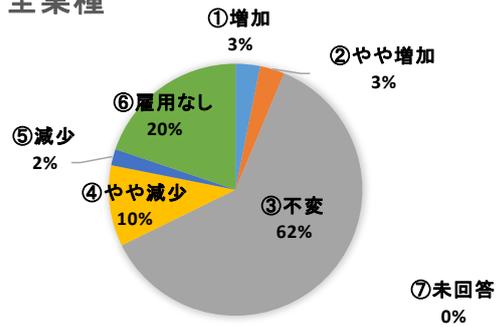
農業		
10～12月	件数	構成比
①増加	1	100.0%
②増減なし	0	0.0%
③減少 5～25%	0	0.0%
④減少 25～50%	0	0.0%
⑤減少 50～75%	0	0.0%
⑥減少 75%～	0	0.0%
⑦未回答	0	0.0%
総計	1	100.0%

2.雇用状況

(令和4年9月30日)と(令和4年12月31日)の比較

全業種		
12月31日	件数	構成比
①増加	3	3.1%
②やや増加	3	3.1%
③不変	59	61.5%
④やや減少	10	10.4%
⑤減少	2	2.1%
⑥雇用なし	19	19.8%
⑦未回答	0	0.0%
総計	96	100.0%

全業種



建設業		
12月31日	件数	構成比
①増加	0	0.0%
②やや増加	0	0.0%
③不変	12	70.6%
④やや減少	3	17.6%
⑤減少	0	0.0%
⑥雇用なし	2	11.8%
⑦未回答	0	0.0%
総計	17	100.0%

製造業		
12月31日	件数	構成比
①増加	1	9.1%
②やや増加	1	9.1%
③不変	7	63.6%
④やや減少	1	9.1%
⑤減少	1	9.1%
⑥雇用なし	0	0.0%
⑦未回答	0	0.0%
総計	11	100.0%

卸売業		
12月31日	件数	構成比
①増加	0	0.0%
②やや増加	0	0.0%
③不変	6	100.0%
④やや減少	0	0.0%
⑤減少	0	0.0%
⑥雇用なし	0	0.0%
⑦未回答	0	0.0%
総計	6	100.0%

小売業		
12月31日	件数	構成比
①増加	1	5.3%
②やや増加	2	10.5%
③不変	9	47.4%
④やや減少	1	5.3%
⑤減少	1	5.3%
⑥雇用なし	5	26.3%
⑦未回答	0	0.0%
総計	19	100.0%

飲食業		
12月31日	件数	構成比
①増加	0	0.0%
②やや増加	0	0.0%
③不変	8	66.7%
④やや減少	0	0.0%
⑤減少	0	0.0%
⑥雇用なし	4	33.3%
⑦未回答	0	0.0%
総計	12	100.0%

宿泊業		
12月31日	件数	構成比
①増加	0	0.0%
②やや増加	0	0.0%
③不変	5	50.0%
④やや減少	4	40.0%
⑤減少	0	0.0%
⑥雇用なし	1	10.0%
⑦未回答	0	0.0%
総計	10	100.0%

サービス業		
12月31日	件数	構成比
①増加	0	0.0%
②やや増加	0	0.0%
③不変	12	60.0%
④やや減少	1	5.0%
⑤減少	0	0.0%
⑥雇用なし	7	35.0%
⑦未回答	0	0.0%
総計	20	100.0%

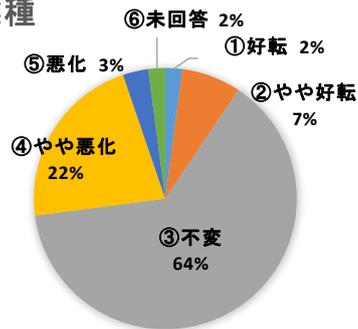
農業		
12月31日	件数	構成比
①増加	1	100.0%
②やや増加	0	0.0%
③不変	0	0.0%
④やや減少	0	0.0%
⑤減少	0	0.0%
⑥雇用なし	0	0.0%
⑦未回答	0	0.0%
総計	1	100.0%

3.資金繰り状況

(令和4年9月30日)と(令和4年12月31日)の比較

全業種		
12月31日	件数	構成比
①好転	2	2.1%
②やや好転	7	7.3%
③不変	61	63.5%
④やや悪化	21	21.9%
⑤悪化	3	3.1%
⑥未回答	2	2.1%
総計	96	100.0%

全業種



建設業		
12月31日	件数	構成比
①好転	1	5.9%
②やや好転	2	11.8%
③不変	9	52.9%
④やや悪化	5	29.4%
⑤悪化	0	0.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	17	100.0%

製造業		
12月31日	件数	構成比
①好転	0	0.0%
②やや好転	0	0.0%
③不変	7	63.6%
④やや悪化	3	27.3%
⑤悪化	1	9.1%
⑥未回答	0	0.0%
総計	11	100.0%

卸売業		
12月31日	件数	構成比
①好転	0	0.0%
②やや好転	0	0.0%
③不変	4	66.7%
④やや悪化	2	33.3%
⑤悪化	0	0.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	6	100.0%

小売業		
12月31日	件数	構成比
①好転	0	0.0%
②やや好転	3	15.8%
③不変	7	36.8%
④やや悪化	7	36.8%
⑤悪化	1	5.3%
⑥未回答	1	5.3%
総計	19	100.0%

飲食業		
12月31日	件数	構成比
①好転	1	8.3%
②やや好転	0	0.0%
③不変	11	91.7%
④やや悪化	0	0.0%
⑤悪化	0	0.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	12	100.0%

宿泊業		
12月31日	件数	構成比
①好転	0	0.0%
②やや好転	0	0.0%
③不変	7	70.0%
④やや悪化	2	20.0%
⑤悪化	0	0.0%
⑥未回答	1	10.0%
総計	10	100.0%

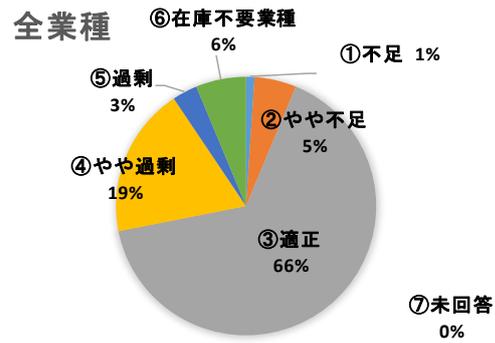
サービス業		
12月31日	件数	構成比
①好転	0	0.0%
②やや好転	2	10.0%
③不変	15	75.0%
④やや悪化	2	10.0%
⑤悪化	1	5.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	20	100.0%

農業		
12月31日	件数	構成比
①好転	0	0.0%
②やや好転	0	0.0%
③不変	1	100.0%
④やや悪化	0	0.0%
⑤悪化	0	0.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	1	100.0%

4.在庫状況

(令和4年12月31日現在)

全業種		
12月31日	件数	構成比
①不足	1	1.0%
②やや不足	5	5.2%
③適正	63	65.6%
④やや過剰	18	18.8%
⑤過剰	3	3.1%
⑥在庫不要業種	6	6.3%
⑦未回答	0	0.0%
総計	96	100.0%



建設業		
12月31日	件数	構成比
①不足	0	0.0%
②やや不足	2	11.8%
③適正	11	64.7%
④やや過剰	2	11.8%
⑤過剰	1	5.9%
⑥在庫不要業種	1	5.9%
⑦未回答	0	0.0%
総計	17	100.0%

製造業		
12月31日	件数	構成比
①不足	1	9.1%
②やや不足	0	0.0%
③適正	7	63.6%
④やや過剰	2	18.2%
⑤過剰	1	9.1%
⑥在庫不要業種	0	0.0%
⑦未回答	0	0.0%
総計	11	100.0%

卸売業		
12月31日	件数	構成比
①不足	0	0.0%
②やや不足	1	16.7%
③適正	3	50.0%
④やや過剰	1	16.7%
⑤過剰	1	16.7%
⑥在庫不要業種	0	0.0%
⑦未回答	0	0.0%
総計	6	100.0%

小売業		
12月31日	件数	構成比
①不足	0	0.0%
②やや不足	2	10.5%
③適正	9	47.4%
④やや過剰	8	42.1%
⑤過剰	0	0.0%
⑥在庫不要業種	0	0.0%
⑦未回答	0	0.0%
総計	19	100.0%

飲食業		
12月31日	件数	構成比
①不足	0	0.0%
②やや不足	0	0.0%
③適正	9	75.0%
④やや過剰	2	16.7%
⑤過剰	0	0.0%
⑥在庫不要業種	1	8.3%
⑦未回答	0	0.0%
総計	12	100.0%

宿泊業		
12月31日	件数	構成比
①不足	0	0.0%
②やや不足	0	0.0%
③適正	8	80.0%
④やや過剰	1	10.0%
⑤過剰	0	0.0%
⑥在庫不要業種	1	10.0%
⑦未回答	0	0.0%
総計	10	100.0%

サービス業		
12月31日	件数	構成比
①不足	0	0.0%
②やや不足	0	0.0%
③適正	15	75.0%
④やや過剰	2	10.0%
⑤過剰	0	0.0%
⑥在庫不要業種	3	15.0%
⑦未回答	0	0.0%
総計	20	100.0%

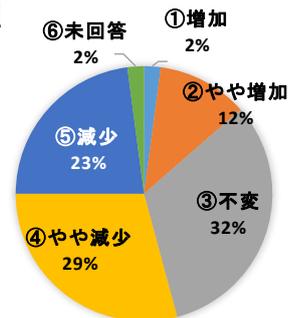
農業		
12月31日	件数	構成比
①不足	0	0.0%
②やや不足	0	0.0%
③適正	1	100.0%
④やや過剰	0	0.0%
⑤過剰	0	0.0%
⑥在庫不要業種	0	0.0%
⑦未回答	0	0.0%
総計	1	100.0%

5.今後の見通し(売上高)

(令和4年10月～12月)と(令和5年1月～3月)の比較

全業種		
1～3月	件数	構成比
①増加	2	2.1%
②やや増加	11	11.5%
③不変	31	32.3%
④やや減少	28	29.2%
⑤減少	22	22.9%
⑥未回答	2	2.1%
総計	96	100.0%

全業種



建設業		
1～3月	件数	構成比
①増加	0	0.0%
②やや増加	2	11.8%
③不変	10	58.8%
④やや減少	2	11.8%
⑤減少	3	17.6%
⑥未回答	0	0.0%
総計	17	100.0%

製造業		
1～3月	件数	構成比
①増加	0	0.0%
②やや増加	2	18.2%
③不変	1	9.1%
④やや減少	3	27.3%
⑤減少	4	36.4%
⑥未回答	1	9.1%
総計	11	100.0%

卸売業		
1～3月	件数	構成比
①増加	1	16.7%
②やや増加	1	16.7%
③不変	2	33.3%
④やや減少	1	16.7%
⑤減少	1	16.7%
⑥未回答	0	0.0%
総計	6	100.0%

小売業		
1～3月	件数	構成比
①増加	1	5.3%
②やや増加	2	10.5%
③不変	3	15.8%
④やや減少	9	47.4%
⑤減少	4	21.1%
⑥未回答	0	0.0%
総計	19	100.0%

飲食業		
1～3月	件数	構成比
①増加	0	0.0%
②やや増加	0	0.0%
③不変	4	33.3%
④やや減少	4	33.3%
⑤減少	3	25.0%
⑥未回答	1	8.3%
総計	12	100.0%

宿泊業		
1～3月	件数	構成比
①増加	0	0.0%
②やや増加	0	0.0%
③不変	2	20.0%
④やや減少	4	40.0%
⑤減少	4	40.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	10	100.0%

サービス業		
1～3月	件数	構成比
①増加	0	0.0%
②やや増加	4	20.0%
③不変	9	45.0%
④やや減少	5	25.0%
⑤減少	2	10.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	20	100.0%

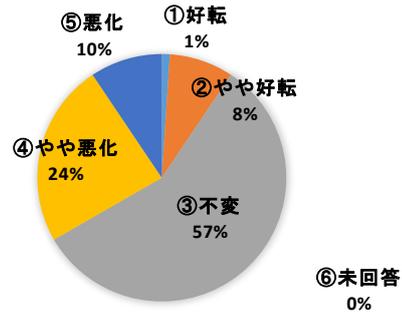
農業		
1～3月	件数	構成比
①増加	0	0.0%
②やや増加	0	0.0%
③不変	0	0.0%
④やや減少	0	0.0%
⑤減少	1	100.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	1	100.0%

6.今後の見通し(資金繰り)

(令和4年10月～12月)と(令和5年1月～3月)の比較

全業種		
1～3月	件数	構成比
①好転	1	1.0%
②やや好転	8	8.3%
③不変	55	57.3%
④やや悪化	23	24.0%
⑤悪化	9	9.4%
⑥未回答	0	0.0%
総計	96	100.0%

全業種



建設業		
1～3月	件数	構成比
①好転	1	5.9%
②やや好転	1	5.9%
③不変	9	52.9%
④やや悪化	4	23.5%
⑤悪化	2	11.8%
⑥未回答	0	0.0%
総計	17	100.0%

製造業		
1～3月	件数	構成比
①好転	0	0.0%
②やや好転	1	9.1%
③不変	5	45.5%
④やや悪化	4	36.4%
⑤悪化	1	9.1%
⑥未回答	0	0.0%
総計	11	100.0%

卸売業		
1～3月	件数	構成比
①好転	0	0.0%
②やや好転	0	0.0%
③不変	5	83.3%
④やや悪化	1	16.7%
⑤悪化	0	0.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	6	100.0%

小売業		
1～3月	件数	構成比
①好転	0	0.0%
②やや好転	2	10.5%
③不変	9	47.4%
④やや悪化	7	36.8%
⑤悪化	1	5.3%
⑥未回答	0	0.0%
総計	19	100.0%

飲食業		
1～3月	件数	構成比
①好転	0	0.0%
②やや好転	0	0.0%
③不変	7	58.3%
④やや悪化	2	16.7%
⑤悪化	3	25.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	12	100.0%

宿泊業		
1～3月	件数	構成比
①好転	0	0.0%
②やや好転	0	0.0%
③不変	6	60.0%
④やや悪化	2	20.0%
⑤悪化	2	20.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	10	100.0%

サービス業		
1～3月	件数	構成比
①好転	0	0.0%
②やや好転	4	20.0%
③不変	13	65.0%
④やや悪化	3	15.0%
⑤悪化	0	0.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	20	100.0%

農業		
1～3月	件数	構成比
①好転	0	0.0%
②やや好転	0	0.0%
③不変	1	100.0%
④やや悪化	0	0.0%
⑤悪化	0	0.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	1	100.0%

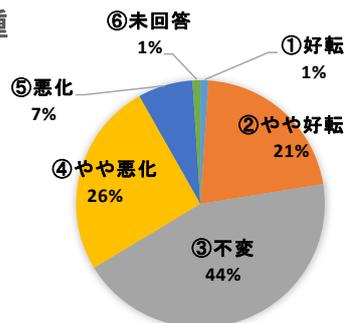
7.今後の見通し(業況判断)

(令和4年7月～9月)と(令和4年10月～12月)の比較

全業種

10～12月	件数	構成比
①好転	1	1.0%
②やや好転	21	21.4%
③不変	43	43.9%
④やや悪化	25	25.5%
⑤悪化	7	7.1%
⑥未回答	1	1.0%
総計	98	100.0%

全業種



建設業		
10～12月	件数	構成比
①好転	0	0.0%
②やや好転	2	12.5%
③不変	9	56.3%
④やや悪化	5	31.3%
⑤悪化	0	0.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	16	100.0%

製造業		
10～12月	件数	構成比
①好転	1	8.3%
②やや好転	4	33.3%
③不変	3	25.0%
④やや悪化	2	16.7%
⑤悪化	2	16.7%
⑥未回答	0	0.0%
総計	12	100.0%

卸売業		
10～12月	件数	構成比
①好転	0	0.0%
②やや好転	3	60.0%
③不変	1	20.0%
④やや悪化	1	20.0%
⑤悪化	0	0.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	5	100.0%

小売業		
10～12月	件数	構成比
①好転	0	0.0%
②やや好転	3	13.6%
③不変	8	36.4%
④やや悪化	9	40.9%
⑤悪化	2	9.1%
⑥未回答	0	0.0%
総計	22	100.0%

飲食業		
10～12月	件数	構成比
①好転	0	0.0%
②やや好転	2	18.2%
③不変	7	63.6%
④やや悪化	0	0.0%
⑤悪化	2	18.2%
⑥未回答	0	0.0%
総計	11	100.0%

宿泊業		
10～12月	件数	構成比
①好転	0	0.0%
②やや好転	2	18.2%
③不変	2	18.2%
④やや悪化	5	45.5%
⑤悪化	1	9.1%
⑥未回答	1	9.1%
総計	11	100.0%

サービス業		
10～12月	件数	構成比
①好転	0	0.0%
②やや好転	4	20.0%
③不変	13	65.0%
④やや悪化	3	15.0%
⑤悪化	0	0.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	20	100.0%

農業		
10～12月	件数	構成比
①好転	0	0.0%
②やや好転	1	100.0%
③不変	0	0.0%
④やや悪化	0	0.0%
⑤悪化	0	0.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	1	100.0%

②中小企業景況感 (DI は、増加(上昇、好転) 企業割合から減少(低下、悪化) 企業割合を差し引いた値を示します。)
製造業

コスト面の懸念がさらに拡大する製造業

2022年10-12月期の製造業の主要3DIは、売上(加工)額DIはマイナス3.5(前期比0.5ポイント上昇)、採算(経常利益)DIはマイナス28.2(同2.2ポイント上昇)と前期から改善したものの、資金繰りDIはマイナス16.2(同0.6ポイント低下)と2四半期連続で悪化した。また、DIを1年前の同時期と比較すると、売上は4.8ポイント上回るものの、採算は7.9ポイント、資金繰りは3.1ポイント下回って推移している。

DIの内訳をみると、売上と採算では当期が前年より「増加・上昇・好転」したという回答が増えてはいるもののその割合はわずかである(売上0.4ポイント、採算0.2ポイント)。また、DIが唯一低下した資金繰りについても「増加・上昇・好転」の割合は前期と変わらず、「減少・低下・悪化」したという回答がやや増加していた(0.6ポイント)。

DIを業種別にみると、全17業種のうち売上額で5、採算は9、資金繰りは6の業種で対前期からの改善を示したが、このうち主要3DI全てが対前期プラスとなった業種は「食料品製造業」「金属製品製造業」「輸送用機械器具製造業」の3業種にとどまる。反対に全てが対前期より低下したのは「繊維工業」「衣料・その他繊維製品製造業」「パルプ・紙・紙加工品製造業」「化学工業」「その他製造業」の5業種と業種によりバラつきがあることがわかる。製造業のDIは水準自体がプラスとなる業種も複数存在するが、売上高DIの水準は前回同様8業種でプラスを示した。

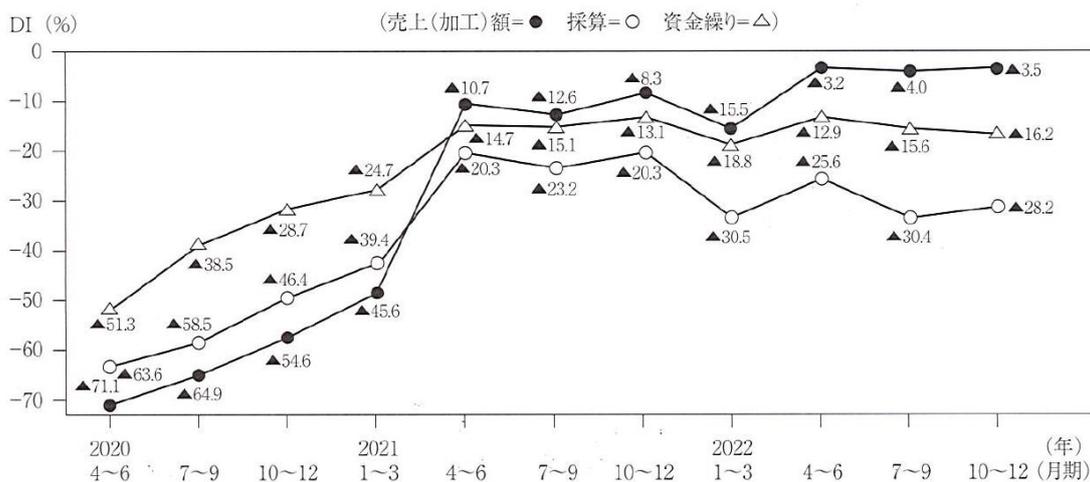
地域別では、全8地域のうち売上が4、採算6、資金繰りは4つの地域で前回より改善したが、中でも「四国」の売上は対前期で11.5ポイントと2桁以上上昇した。また、「中部」「九州」の2地域は主要3DI全てが改善を示している一方で「近畿」のみは3DI全てが悪化している。今回、売上額DIは「中部」「中国」「四国」の3地域で水準自体がプラスに推移した。(それぞれ、1.1、6.3、5.0)。

人口規模別のDIは一番規模の小さい「人口一万人未満の地区」と一番大きい「人口十万人以上の地区」で3DI全てが改善しているのに対して、「人口三万人～十万人未満」では全てが悪化しており、規模による明確な傾向はみられない。一方、従業員規模別でみると全7区分のうち売上が4、採算5、資金繰りは2つの区分で改善しており、特に採算DIが改善した区分が多い。また、売上額DIは「11人～20人以下」「21人～50人以下」「51人～100人以下」「101人以上」の規模の大きい4つの区分で前回同様水準自体がプラスを維持している(それぞれ3.0、8.2、10.3、40.0)。

経営上の問題点の推移をみると、1番の問題点として指摘されるのは5期連続で「原材料価格の上昇」が一位となり、4割を超える46.6%(対前期2.6ポイント増加)の経営者が指摘をしていることがわかる。2位も前回同様「需要の停滞」があげられているが、その割合は2.6ポイント減少し、12.4%と1位とは大きく差がついている。続く3位は「従業員の確保難」7.9%(同0.4ポイント増加)、4位「生産設備の不足・老朽化」7.5%(同0.4ポイント低下)で前回とは順位が入れ替わっているが、指摘する割合としては大きく変わらない。また、前回6位だった「原材料費・人件費以外の経費の増加」は前回より1.2ポイント増加し、5位に浮上した。1位の項目とあわせると製造業におけるコスト面の不安は引き続き大きくなっている。

1. 主要3項目の動き

〈図2-1〉主要景況項目の推移 ー前年同期比ー



項目	売上(DI)				経常利益(DI)			
	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月
前期比	12.3	0.8	0.5		4.9	▲4.8	2.2	
前年比	7.5	8.6	4.8		▲5.3	▲7.2	▲7.9	

建設業

材料価格上昇などを背景として前期から悪化した建設業

2022年10～12月期の建設業の主要3DIは、完成工事（請負工事）額DIがマイナス14.0（前期比1.3ポイント低下）、採算（経常利益）DIはマイナス32.6（同0.8ポイント低下）、資金繰りDIはマイナス10.1（同2.2ポイント低下）といずれも悪化する結果となった。1年前の水準と比較すると、完成工事は2.3ポイント、資金繰り1.3ポイント前年同期を上回っているが、採算のみ8.2ポイント低下している。

DIの内訳をみると、当期が前年より「増加・上昇・好転」したという回答の割合は3DI全てで低下（完成工事1.0ポイント、採算0.1ポイント、資金繰り1.4ポイント）した。加えて「減少・低下・悪化」したという回答はいずれも増えているものの、増加幅は全て1ポイント未満でそれほど大きくはない（完成工事0.3ポイント、採算0.7ポイント、資金繰り0.8ポイント）。また、完成工事額DIの来期の見通しはそれほど大幅な改善ではないものの、過去1年間と比較すると一番良い見通しとなっている。

業種別DIをみると前回より改善したのは「職別工事業」の売上額（対前期0.5ポイント上昇）、「設備工事業」の採算（同5.6ポイント上昇）のみで残りは対前期マイナスとなった。特に全体に占める割合が5割を超える「総合工事業」は主要3DI全てが対前期でマイナスになり（完成工事1.2ポイント、採算3.0ポイント、資金繰り2.5ポイントそれぞれ低下）、全体に与えた影響は大きい。

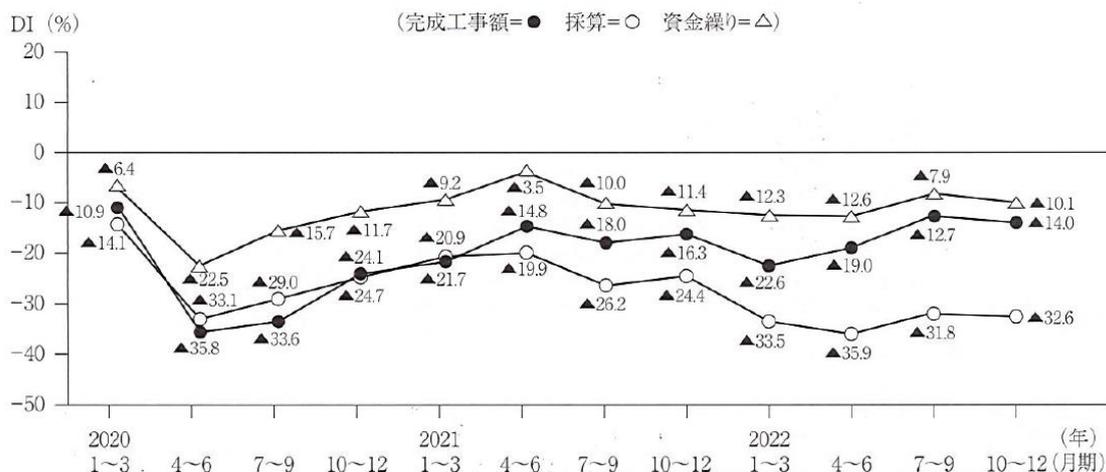
地域別で改善したのは売上額DIが全8地域中4地域、採算が3地域、資金繰りが2地域と前回より少ない。また、今回は主要3DI全てが改善したのが「北海道」「四国」の2地域、反対に全て悪化したのは「東北」「関東」「中部」「近畿」の4地域に上り、地域ごとにバラつきが目立つ結果となった。

人口規模別は一番小さい「人口一万人未満の地区」のみ主要3DI全てが改善したが、いずれも上昇の幅はそれほど大きくはない（完成工事0.7ポイント、採算0.9ポイント、資金繰り1.3ポイント）。また、その他の区分は「人口三万人～十万人未満」の売上額がわずかに改善したのみ、それも対前期では0.1ポイント増加とほぼ横ばいの状況だった。一方、従業員規模別においてDIが改善したのは「6人～10人以上」～「51人～100人以下」の中間の4区分のみだったが、その中でも「21人～50人以下」「51人～100以下」の売上額は2桁ポイントの改善を示していた（それぞれ19.4ポイント、12.5ポイント上昇）。

経営上の問題点の推移をみると、第1位は7期連続で「材料価格の上昇」があげられ、前回から4.2ポイント増加して53.3%となり、指摘する経営者の割合が5割を超える水準に達した。続く2位はこちらも前回同様「従業員の確保難」だったが、割合は13.3%と0.1ポイントの微増にとどまる。3位、4位は順位が入れ替わり「官公需要の停滞」が6.9%、「民間需要の停滞」が5.9%だった。

1. 主要3項目の動き

〈図3-1〉主要景況項目の推移 —前年同期比—



項目	売上(DI)				経常利益(DI)			
	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月
前期比	3.6	6.3	▲1.3		▲2.4	4.1	0.8	
前年比	▲4.2	5.3	2.3		▲16.0	▲5.6	▲8.2	

小売業

売上額は改善したものの採算、資金繰りはわずかに低下した小売業

2022年10～12月期の小売業の主要3DIは、売上額DIはマイナス18.4（前期比2.5ポイント上昇）、採算DIはマイナス39.6（同0.9ポイント低下）、資金繰りDIはマイナス23.7（同0.4ポイント低下）となり、売上額以外の2DIは小幅ながら悪化した。水準を1年前と比較すると、売上は18.0ポイント、採算1.4ポイント、資金繰り1.6ポイントといずれも上回っており、特に売上は2桁ポイント改善していることがわかる。

DIの内訳をみると、主要3DIのいずれも当期が前年より「増加・上昇・好転」したという回答の割合は増加している（売上1.0ポイント、採算0.2ポイント、資金繰り0.1ポイント）ものの、採算と資金繰りの増加幅はわずかである。また、採算と資金繰りについては「減少・低下・悪化」したという回答がそれ以上に増加したため（採算1.1ポイント、資金繰り0.5ポイント）、DIを低下させる原因となった。小売業における来期見通しは主要3DIとも悪化すると見込んでおり依然として不透明な状況である。

業種別にみた主要3DIは、全6業種のうちそれぞれ半数の3業種で対前期プラスとなっている。また、主要3DI全てが対前期で改善した業種は「各種商品小売業」（6.0ポイント、採算2.1ポイント、資金繰り1.8ポイント上昇）「織物・衣料・身の回り品小売業」（売上8.4ポイント、採算9.1ポイント、資金繰り1.6ポイント上昇）の2業種だった。

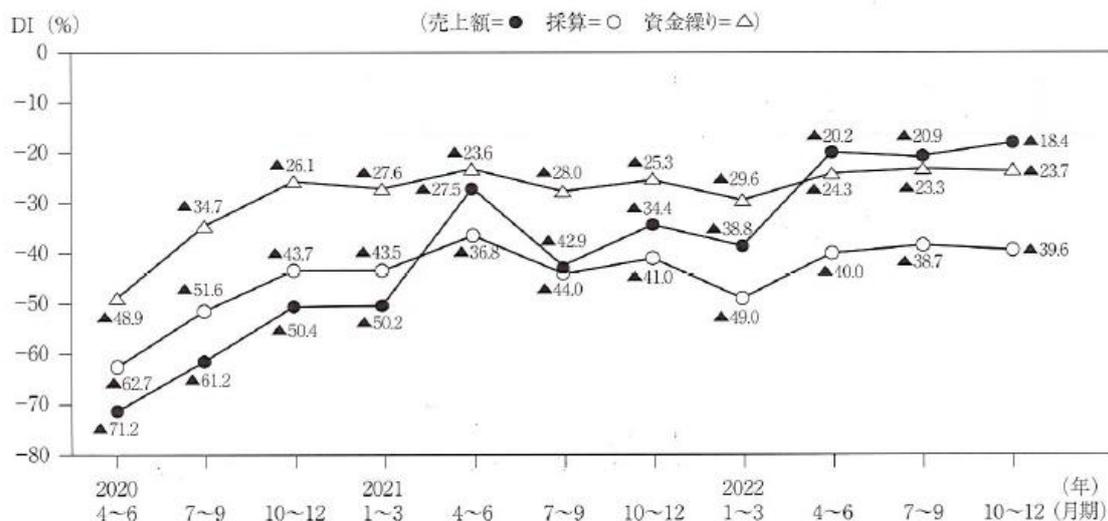
地域別でみたDIは、全8地域中売上が5、採算3、資金繰り3の地域で改善しているが、このうち「関東」（売上3.8ポイント、採算0.7ポイント、資金繰り0.2ポイント上昇）「中部」（対前期で売上8.9ポイント、採算1.3ポイント、資金繰り6.6ポイント上昇）は3DI全てが対前期で上昇している。

人口規模別では全回より改善したのは、規模の大きい「人口三万人～十万人未満」「人口十万人以上」の売上DIのみだった。逆に規模の小さい「人口一万人未満」および「人口一万人～三万人未満」の2区分では主要3DI全てが前期より悪化した。また、従業員規模別ではおおそ半分程度のDIが改善しているが、区分による明確な傾向などはみられない。ただし規模の大きい「6人～10人以下」「11人～20人以下」「21人以上」の3区分の売上高DIは水準自体がプラスで推移している。

経営上の問題点として指摘される割合は3期連続で「仕入単価の上昇」が1位となり、その割合は1.3ポイント増加して33.2%となった。2位は「需要の停滞」だったが、指摘される割合は2.6ポイント減少し、12.0%と差が開いている。以降は、「購買力の他地域への流出」と「消費者ニーズの変化」がどちらも10.1%で続いた。また、今回増加幅が一番大きかったのは「人件費以外の経費の増加」の1.4ポイント、割合は5.1%だが順位も6位に浮上しており、1位の項目とあわせコスト面での問題を指摘する経営者が多いことがわかる。

1. 主要3項目の動き

〈図4-1〉主要景況項目の推移 —前年同期比—



項目	売上(DI)				経常利益(DI)			
	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月
前期比	18.6	▲0.7	2.5		9.0	1.3	▲0.9	
前年比	7.3	22.0	16.0		▲3.2	5.3	1.4	

サービス業

売上額、資金繰りは小幅ながら改善したサービス業

2022年10-12月期のサービス業の主要3DIは、売上(収入)額DIはマイナス7.4(前期比0.5ポイント上昇)、資金繰りDIはマイナス17.6(同1.0ポイント上昇)と改善したが、採算(経常利益)DIはマイナス36.7(同0.8ポイント低下)と悪化した。ただしいずれのDIも変化の割合は比較的小幅にとどまる。これを1年前の水準と比較すると、売上は18.9ポイント、資金繰りは1.5ポイント高いが、採算は4.5ポイント低く推移している。

DIの内訳をみると、3DIのいずれも当期が前年より「増加・上昇・好転」という回答の割合がわずかに低下(売上0.5ポイント、採算0.7ポイント、資金繰り0.4ポイント)していたことがわかる。一方、売上と資金繰りは「減少・低下・悪化」という回答がそれより大きく低下した(売上1.0ポイント、資金繰り1.4ポイント)ために、DIそのものが改善する結果となった。

業種別の主要3DIは全6業種のうち半分にあたる3業種での改善がみられる。このうち「飲食店(一般・遊興)」(売上4.4ポイント、採算4.6ポイント、資金繰り5.7ポイント上昇)、「運送業」(売上3.8ポイント、採算3.9ポイント、資金繰り0.8ポイント上昇)は主要3DI全てが上昇したが、「洗濯・理美容業」「その他のサービス業」は逆に全てが低下しており、分野によってバラつきがみられた。また、「飲食店(一般・遊興)」「宿泊業」「運送業」の売上額DIの水準はプラスで推移している(それぞれ7.4、27.8、3.8)。

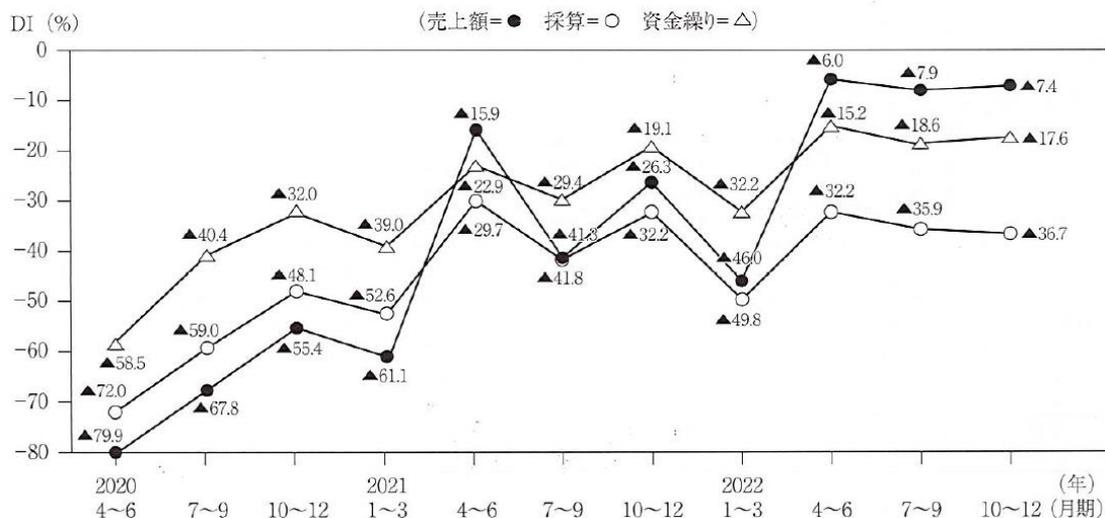
地域別でみると、売上は4地域、採算と資金繰りでは3地域での改善がみられる。このうち「関東」(売上2.8ポイント、採算2.0ポイント、資金繰り2.4ポイント上昇)、「九州」(売上7.1ポイント、採算3.7ポイント、資金繰り3.0ポイント上昇)は主要3DI全てが対前期で改善しており、特に「関東」の売上額DIは水準でもプラスを維持する。反対に全てが低下した地域は「北海道」「中国」「四国」の3地域に上った。

また、人口規模別はほぼ半数でDIが前期より改善したが、一番小さい区分「人口一万人未満」のみ主要3DI全てが前回より低下し、一番大きい「人口十万人以上の地区又は含まれる地区」は3DI全てが改善する結果であった。一方、従業員規模別でみた場合は規模が小さい区分での改善傾向がみられ、一番大きい「21人以上」では主要3DI全てでDIの低下がみられた。ただし「11人~20人以下」および「21人以上」の規模が大きい区分においては、売上DIの水準自体はプラスを保っている(それぞれ18.3、12.8)。

経営上の問題点の推移をみると、1番の問題として指摘される割合が一番多かったのは3期連続で「材料等仕入単価の上昇」となり、指摘される割合は5.1ポイント増加し35.7%だった。2位は「需要の停滞」だがその割合は3.6ポイント減少し14.6%にとどまる。3位以下も前回同様の順位で「利用者ニーズの変化」11.0%(0.7ポイント減少)、4位「人件費以外の経費の増加」(2.1ポイント増加)と続き、コストに関する指摘が引き続き増えていることがわかる。

1. 主要3項目の動き

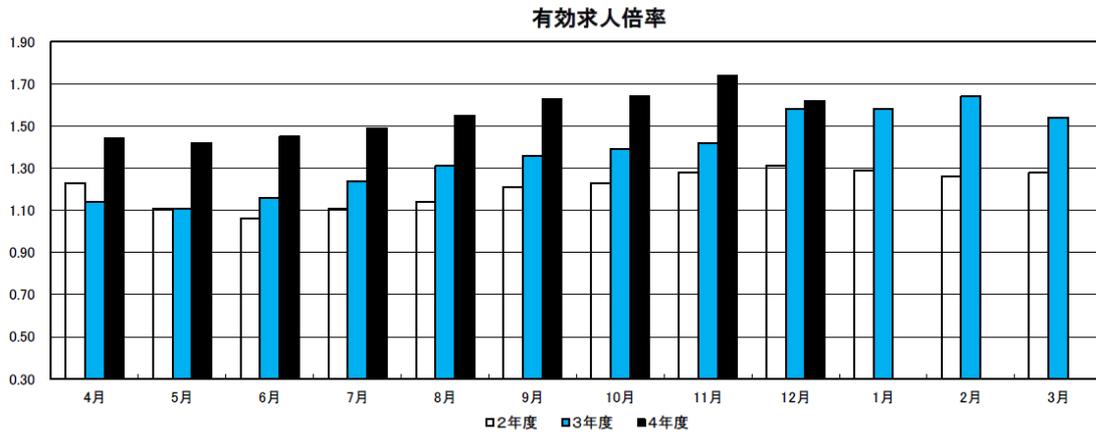
(図5-1) 主要景況項目の推移 ー前年同期比ー



項目	売上(DI)				経常利益(DI)			
	4月~6月	7月~9月	10月~12月	1月~3月	4月~6月	7月~9月	10月~12月	1月~3月
前期比	40.0	▲1.9	▲0.5		17.6	3.7	▲0.8	
前年比	9.9	33.4	18.9		▲2.5	5.9	▲4.5	

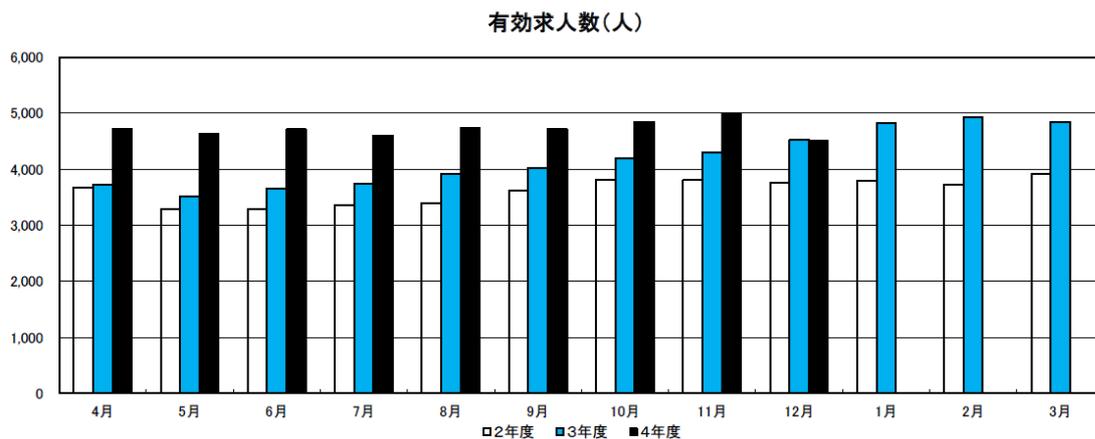
(以上、全国商工会連合会「中小企業景況調査2022年4-6月期」より抜粋)

③地域の雇用情勢



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
2年度	1.23	1.11	1.06	1.11	1.14	1.21	1.23	1.28	1.31	1.29	1.26	1.28	1.21
3年度	1.14	1.11	1.16	1.24	1.31	1.36	1.39	1.42	1.58	1.58	1.64	1.54	1.37
4年度	1.44	1.42	1.45	1.49	1.55	1.63	1.64	1.74	1.62				1.55
対前月(増減)	-0.10	△0.02	+0.03	+0.04	+0.06	+0.08	+0.01	+0.1	△0.12				—
対前年(増減)	+0.30	+0.31	+0.29	+0.25	+0.24	+0.27	+0.25	+0.32	+0.04				—

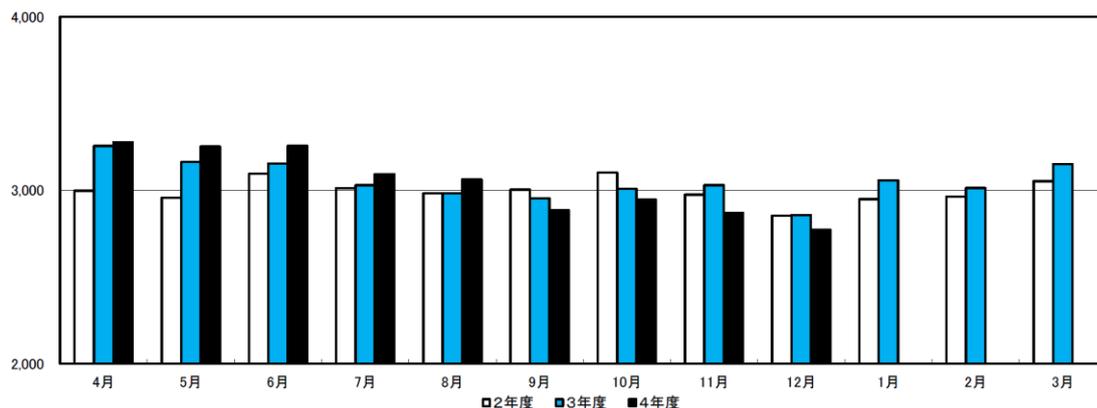
出典:厚生労働省兵庫労働局『月報ひょうご』



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
2年度	3,679	3,287	3,292	3,357	3,401	3,626	3,809	3,806	3,753	3,792	3,724	3,909	3,620
3年度	3,722	3,518	3,657	3,741	3,911	4,026	4,195	4,292	4,523	4,825	4,929	4,852	4,183
4年度	4,728	4,634	4,710	4,596	4,744	4,713	4,844	5,008	4,507				4,720
前月比(%)	△2.56	△1.99	+1.64	△2.42	+3.22	△0.65	+2.78	+3.39	△10.00				—
前年同月比(%)	+27.03	+31.72	+28.79	+22.85	+21.30	+17.06	+15.47	+16.68	△0.35				—

出典:厚生労働省兵庫労働局『月報ひょうご』

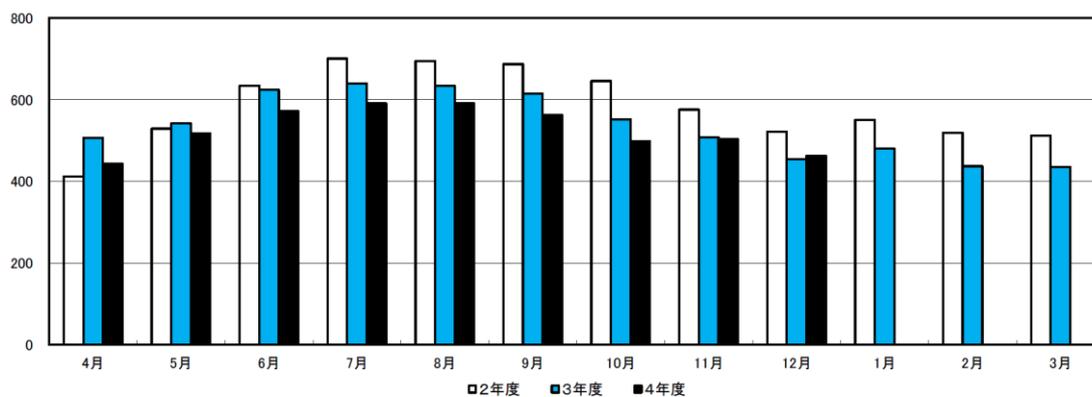
有効求職者数(人)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
2年度	2,997	2,957	3,095	3,012	2,984	3,004	3,101	2,975	2,854	2,949	2,964	3,052	2,995
3年度	3,256	3,162	3,154	3,029	2,982	2,954	3,008	3,029	2,857	3,057	3,013	3,151	3,054
4年度	3,277	3,252	3,256	3,093	3,061	2,886	2,946	2,870	2,774				3,046
前月比(%)	+4.00	△0.76	+0.12	△5.01	△1.03	△5.72	+2.08	△2.58	△3.34				—
前年同月比(%)	+0.64	+2.85	+3.23	+2.11	+2.65	△2.30	△2.06	△5.25	△2.91				—

出典:厚生労働省兵庫労働局『月報ひょうご』

雇用保険受給者実人員(人)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
2年度	412	529	634	701	695	687	646	576	522	551	519	512	582
3年度	507	542	624	640	634	615	552	508	454	480	437	435	536
4年度	443	517	572	591	591	563	498	503	462				527
前月比(%)	+1.84	+16.70	+10.64	+3.32	0.00	△4.74	△11.55	+1.00	△8.15				—
前年同月比(%)	△12.62	△4.61	△8.33	△7.66	△6.78	△8.46	△9.78	△0.98	+1.76				—

出典:厚生労働省兵庫労働局『月報ひょうご』

④業種別業況判断

主要業種の概況

<p>鞆卸売業</p>	<p>景況感はさほど良くない。売上高・収益ともに1、2割の減少。原材料のナイロン素材やアルミ素材は中国等からの輸入が多いため、4月以降円安の影響を受けている。</p> <p>販路拡大の面からは、消費購買意欲の高い台湾の新規顧客獲得を目的として、現地のSNS利用者を対象にオンライン商談を企画している。</p> <p>働き方改革として、初めて男性社員が育児休暇を取得している。退勤時間を1時間繰り上げて家庭の時間を充足させることを目的にしている。</p>
<p>宿泊業</p>	<p>原材料価格の高騰等により、昨年度と比較すると景況感はさほど良くない。個室で食事ができる環境が、お客様の高評価に繋がっている。自社にしかできないサービス提供を目標に高付加価値補助金を利用し部屋の改築を進めている。県民割は多い時は1日100件の予約を確定した。今後の予想としてインバウンド客利用増を見込んでいる。バスツアー再開で団体客も微増となった。原材料価格の高騰対策として価格転嫁を図っているが、蟹シーズンに入り予想がつかず現在交渉中となっている。</p>

「兵庫県の経済・雇用情勢（令和4年10月）」より

<p>食料品製造業</p>	<p>景況感は良いが、今後の景況感はさほど良くないと予測する。円安による原材料（糖、段ボール等の包材、印刷物）価格の高騰により売上高、利益にマイナスの影響が生じている。来年春頃に価格転嫁することを検討している。海外での展示会に参加し、2カ国の輸入代理店と商談し、販売先を確保した。来年以降の販路拡大につなげたい。</p>
<p>娯楽業・宿泊業</p>	<p>景況感は良い。全国旅行支援の開始直後は予約が殺到した。年内は予約が多いが年明けは予約率が低く不安である。</p> <p>円安でタイや香港からの利用客が増えた。一方で電気代が高く、節電対策だけでは難しく国や県の施策に期待する。今夏、学生の短期アルバイトを実施。旅行しながらアルバイトをする学生を2週間で10名受け入れした。評判も良く、仕事に興味を持っていただき、就職のきっかけにつなげていきたい。</p>

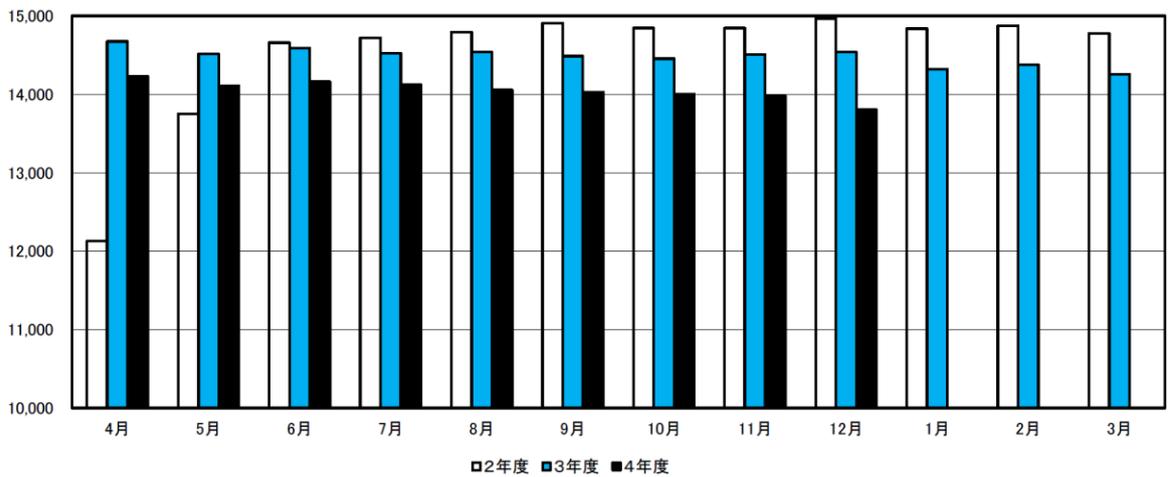
「兵庫県の経済・雇用情勢（令和4年11月）」より

<p>繊維工業</p>	<p>景況感はさほど良くない。気温が低かったことが要因で、肌着類が多く売れたことから売上高は昨年10～12月比で7%増加。一方で、生産数量が少なかったため、利益は昨年同期比で50%減少した。新工場の建築計画を進めていたが、収益回復に見込みがつくまで延期になった。業務の効率化と人材活用を推進するため、2024年頃に自動検反機の導入を計画している。綿糸などの原材料価格の高騰のため、価格転嫁は9月から一部で実施している。</p>
<p>電気機械器具製造業</p>	<p>景況感はさほど良くない。売上高は昨年10～12月期より5%増加。一方で原材料価格の高騰が続き、利益は昨年同期比で20%減少した。設備投資は他地区工場閉鎖に伴い、設備移管を実施している。自動車部品関連は、当社から中継会社を通して大手自動車メーカーに流通するが、中継会社の購入量減少の影響で業績も悪化した。経営難のため、10月から求人募集を停止した。</p>

「兵庫県の経済・雇用情勢（令和4年12月）」より

金融

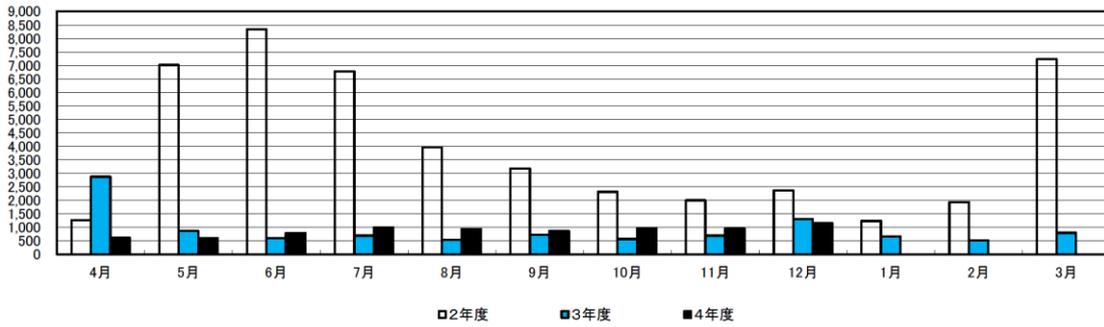
普通貸付残高(百万円)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
2年度	12,130	13,749	14,657	14,720	14,793	14,907	14,844	14,845	14,964	14,837	14,875	14,777	14,508
3年度	14,674	14,514	14,589	14,524	14,538	14,487	14,454	14,505	14,538	14,320	14,377	14,259	14,482
4年度	14,232	14,108	14,161	14,121	14,055	14,027	14,004	13,981	13,803				14,055
前月比 (%)	△0.19	△0.87	+0.38	△0.28	△0.47	△0.20	△0.16	△0.16	△1.27				—
前年同月比 (%)	△3.01	△2.80	△2.93	△2.77	△3.32	△3.18	△3.11	△3.61	△5.06				—

日本政策金融公庫豊岡支店 集計

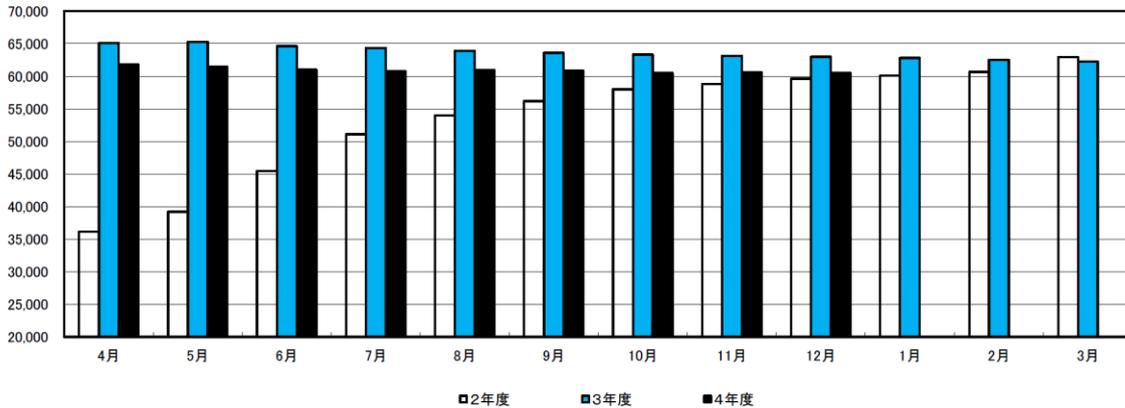
信用保証承諾額(百万円)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
2年度	1,257	7,020	8,344	6,779	3,971	3,178	2,315	1,999	2,362	1,233	1,929	7,230	3,968
3年度	2,874	862	588	690	533	716	568	686	1,305	664	519	799	900
4年度	609	595	792	988	930	865	960	945	1,150				870
前月比 (%)	△23.78	△ 2.30	+33.11	+24.75	△5.87	△6.99	+10.98	△ 1.56	+21.69				—
前年同月比 (%)	△78.81	△30.97	+34.69	+43.19	+74.48	+20.81	+69.01	+37.76	△11.88				—

出典:兵庫県信用保証協会『信用保証月報』

信用保証債務残高(百万円)

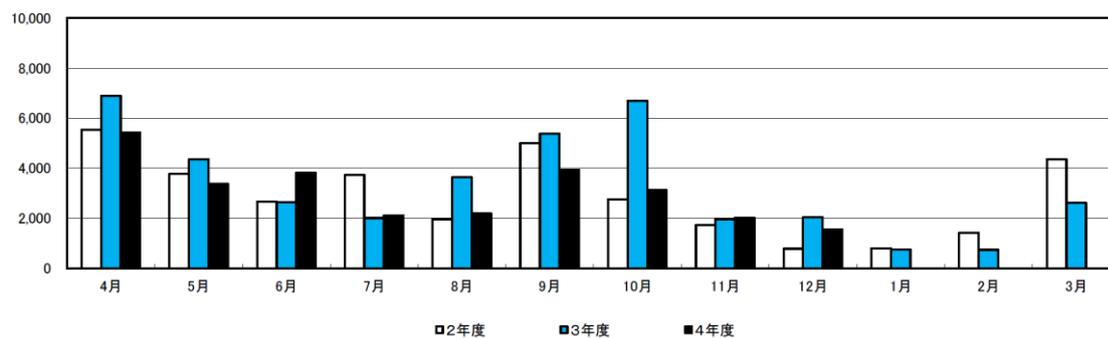


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
2年度	36,127	39,209	45,460	51,094	53,953	56,166	57,992	58,818	59,633	60,075	60,667	62,951	53,512
3年度	65,099	65,265	64,599	64,327	63,901	63,574	63,322	63,155	62,982	62,799	62,541	62,216	63,648
4年度	61,778	61,432	61,006	60,784	60,928	60,810	60,512	60,591	60,510				60,928
前月比 (%)	△ 0.70	△0.56	△0.69	△0.36	+0.24	△0.19	△0.49	+0.13	△0.13				—
前年同月比 (%)	△ 5.10	△5.87	△ 5.56	△ 5.51	△ 4.65	△ 4.35	△ 4.44	△ 4.06	△ 3.92				—

出典:兵庫県信用保証協会『信用保証月報』

公共工事

公共工事請負金額(百万円)

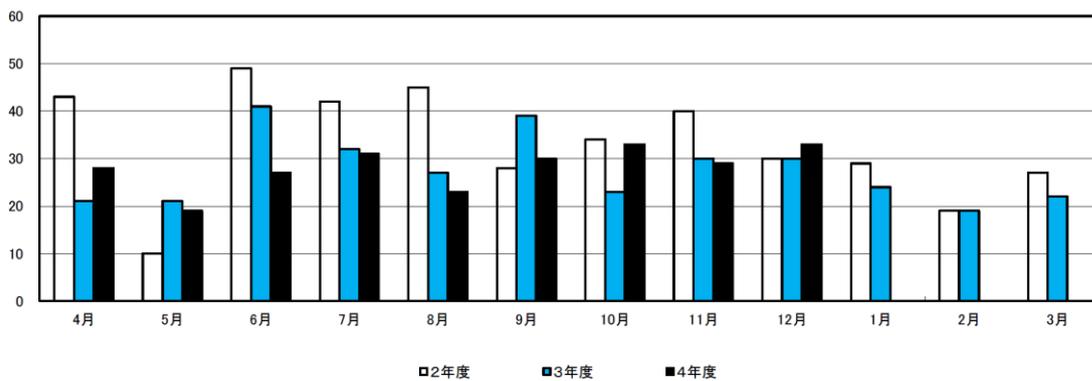


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
2年度	5,542	3,771	2,661	3,727	1,957	5,007	2,749	1,724	783	798	1,420	4,350	2,874
3年度	6,887	4,349	2,642	2,008	3,636	5,374	6,683	1,961	2,045	755	739	2,619	3,308
4年度	5,418	3,371	3,812	2,107	2,185	3,933	3,120	2,029	1,547				3,058
前月比(%)	+106.87	△37.78	+13.08	△44.73	+3.70	+80.00	△20.67	△34.97	△23.76				—
前年同月比(%)	△21.33	△22.49	+44.28	+4.93	△39.91	△26.81	△53.31	+3.47	△24.35				—

西日本建設業保証株式会社兵庫支店 集計

企業倒産（全県）

企業倒産件数(件)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2年度	43	10	49	42	45	28	34	40	30	29	19	27	396
3年度	21	21	41	32	27	39	23	30	30	24	19	22	329
4年度	28	19	27	31	23	30	33	29	33				253

出典:株式会社東京商工リサーチ神戸支社

(以上、兵庫県但馬県民局「但馬の経済指標」より抜粋)